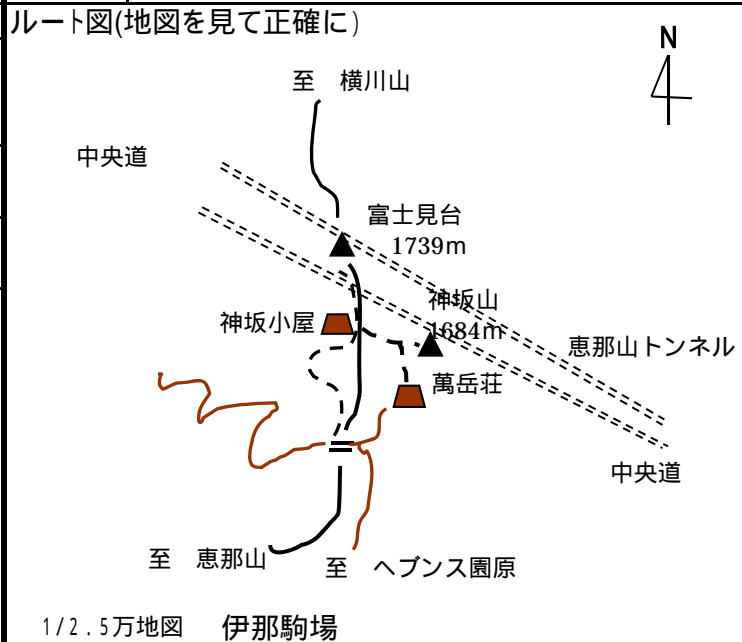


縦の木会(デンソー山岳部OB会)

5月度 例会 個人 山行報告書		報告者;	渡辺勝利	参加 メンバー	CL; 渡辺勝利 渡辺育子 2名
		報告日;	2012.06.07		
山域	中ア南部	山行日	2012.05.26		
山名	富士見台				

山行目的 やまびこ祭(初夏の高原散策) コースタイム(日時・天候)

配布先
参加者;
PC又は
郵送にて
原紙;
会事務局
HP作成;
大矢



5/26(晴風弱し)

6:45	豊田発
7:30~7:50	屏風山PA
9:10~20	神坂峠P
9:50~55	神坂小屋
10:15~11:00	富士見台頂上
11:30~40	神坂山
12:00~13:00	神坂峠P
13:30~14:30	馬籠宿散策
14:45~15:30	クアリゾート「湯船沢」
16:15	あかまんま着

<山行記録>

屏風山PAに乗り、前半は開き道を行く。行くと共に景色が綺麗で、我々のコースはあまりにもハイペース過ぎて人気がないのか、いつものように相棒との二人連れになってしまった。今の自分には程よい距離かなと思いつつ、中津川ICで降りて、R19を北上する。落石の手前の 神田又左衛門を右折し、クアリゾート「湯船沢」へルートに入る。新緑の鮮やかな静かな道路をしばらく進むと右手に見覚えのある建物が見えてくる。風呂は下山後のお楽しみとして素通りし、橋を渡って林道「霧が原大谷」線の九十九折れの山岳コースを今日は先を急ぐ旅でもないのゆっくと走る。神坂峠にテントを張って恵那山に登ったのが5年前のGW、2年前のGWには今回と同じルートを時ならぬ雪に寒い目に遭ったことなどを思い出しながら峠に着く。駐車場には既に数人の車が留めてあり、その横では石目がマフラーやハイグの準備をしている。まさに時は変わつたに感ずく。我々も登山準備をして早々に出発。東山道の難所だった神坂峠の記念碑横から山道に入る。山腹を巻くような平坦路をしばらく進むとなだらかな笹に覆われた山並みが見えてくる。ここへ来ると見慣れた風景だがいつも穏やかな気分になれるのいい。万岳荘からの道と合流するあたりからは登山路というよりは車が通れるくらいの道幅になって神坂小屋まで続いている。小屋に立ち寄りついで、超がレレレと速く歩いて少しいつもどおり頂上まで。これで本日の最高到達目標は達成したが今日は上天気で風もなく頂上で時間を潰すのにはもってこいだ。北方には南沢、横川山の彼方に御岳、乗鞍が東には中ア、八、南アの雪を頂いた峰々がパノラマのように望まれる。南方にはどっしりと恵那山が裾野を広げている。太陽の周りには円周の虹まで出て我々を歓迎してくれているようだ。1h程スケッチなどを楽しんで寛いだ後は神坂山に立ち寄った後、万岳荘経由で峠の駐車場に戻り、まだ余裕があったので峠の記念碑付近の草原でしばらく短歌などを詠んだりしてゆっくり時を過ごす。

<徒然なるままに詠んだ愚作三首披露>

熊笹の山路に沿いたる牧場の 往時を偲ぶ朽ちた鉄柵
 古の旅人の姿偲びつつ 神坂峠の草原に憩う
 風止みて初夏の陽射しが降り注ぐ 神坂峠の草の褥に
 それでもまだまだ時間が余ったので峠から降りて馬籠宿に向かう。

<フリースペース>



牧場跡を見ながら神坂山に向かう

確認
(リーダー)
渡
12/06/07
辺
(報告者)

この急坂を下の入口から往復(ここが今回の中で最も急な坂であった)したり、クアリゾート「湯船沢」でふやけるくらい湯に浸かったあと、あかまんまにて他パーティと合流。その夜のコンパもいつもどおり盛上がった。

<リーダー所見>

こんなに時間に余裕のある登山はかってなかったことだが、お陰で普段なら素通りするような場所や花にも目を向けることが出来、おまけに歌まで詠んで今までとは全く異なる山の味わい方が判った山行でもあった。